

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月6日

事業所名 放課後等デイサービス はらペコ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		子ども達が遊ぶ際、分散されている	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			玄関・各部屋への入り口に段差があるが、段差が高くない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			非常勤は参画していないので、今後は参画してもらうようにする。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		開所して1年なので、まだ行っていない。今後行う予定である。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		開所して1年なので、まだ行っていない。今後行う予定である。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		開所して1年なので、まだ行っていない。今後行う予定である。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	結果を受け、今年1月から外部講師を呼び研修を行っている。	今後行うと思うので、行ったら参加したい。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別支援計画書を作成している	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		1人ひとり個別に支援計画がある。	標準化はされていない部分もあるため、今後標準化できる箇所はしていきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		意見を受け、今年1月から集団療育の企画・実行を職員間で分散するようにした。	1人に負担がかかっている気がする。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		集団療育と個別療育がある。種別も色々あり内容も工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		職員同士で話し合っ決めて実行している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングノート・業務日誌・療育記録で周知がある。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		勤務開始時間は非常勤それぞれだが、ノートや記録で周知してもらえている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		勤務開始時間は非常勤それぞれだが、ノートや記録で周知してもらえている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月ごとに行われており、個別支援計画書も更新されている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			どちらともいえない、の回答が多数であったため、職員への周知を今後行ってこうと思う。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が出席している		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時担任の先生と、利用児について話すようにしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	該当児がいない 今後も該当児の受け入れは考えていない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	実際行われているのか把握していない職員が多数のため、今後周知を行っていききたい	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	該当児がいない 今後は行っていこう	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	把握していない、と回答が多数であった	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公園で一般児童も含めて一緒に遊ぶ機会が多い	把握していない職員もいるため、職員への周知に努めたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		把握していない職員が多数
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時担任の先生と話すようにしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		行っていないが、今後外部の講師の方の利用も含めて行っていききたい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		初回の契約時・面談時行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時担任の先生と話すようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		父母の会が存在していない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		レポートにまとめている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		インスタ・連絡帳・行事のおしらせにしている	
	35	個人情報に十分注意している	○		利用児の個人情報は、鍵付きの書庫に入れている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	近隣の方からの声には早急に対応している	
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			後から入職した職員や利用者への周知が不十分なので、今後は周知に努めていききたい 防犯マニュアルがないので、今後作成したい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		2か月に1度行っている	利用者の方への周知に今後努めていききたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	去年までに1回、今年1月に1回の計2回行っている	把握していない、という意見が多数

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		同意書は存在し重要事項説明書への記載はあるものの、把握していない職員が多数のため周知に努めていきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	軽いアレルギーの利用児については、保護者と利用児本人の意向に沿っている	該当児がいないため、該当児が利用になったら行いたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			存在しているものの、職員への周知が十分のため周知に努めていきたい